

拉致被害者等の人権を考える

1 学習対象

中学生

2 ねらい

拉致被害は重大な人権侵害であることを知り、被害家族の心情に寄り添って、風化させず、解決のため、今、自分にできることを考える。

3 準備するもの

○ワークシート

○インターネットが使用できる機器（一人一台）

4 解説

北朝鮮当局によって拉致された被害者の人権は、すでに各小・中学校に配付済のアニメ「めぐみ」DVD等を使用して、実際に拉致された被害者とその家族の心情を共感しながら考える場が多く設定されてきました。

本ワークでは、拉致問題啓発映像作品「～メッセージ～家族たちの思い」紺野美沙子さんの朗読（約10分）を視聴して、自らの考えを他者と伝え合う活動を設定しています。

本ワークとは別に、拉致問題について国際社会でどのように受け止められているか考える映像資料がまとめられたホームページを用いて、（資料1）1日本政府 2各国政府（アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ）3日本人被害者御家族 4海外被害者御家族 等の立場で拉致被害を国際社会でどのように受け止めているか考える活動も想定できます。動画を視聴して考えたことを伝え合い、話し合う場を設定する展開も考えられます。児童・生徒が視聴できる動画は10種類以上（各5分程度）あるため、4～5人程度のグループで生徒が分担して別々の動画を視聴し、内容と自らの考えを伝え合い、拉致被害が重大な人権侵害であることを再認識し、さらには風化させないことが大切であると気づかせる授業プランも考えられます。

5 進め方（展開例） 50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 5分	<p>◆学習の確認（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（2分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 今楽しみにしていることや将来の夢について考える。 ①のことが、突然「一生叶わない」と知ったらどう思うかワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを簡単に説明する。 P4【学習の約束】を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配付する。 長い時間をかけたり、記入させることに力点を置く必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
展開 35分	<p>◆アクティビティ（35分）</p> <ol style="list-style-type: none"> 拉致問題について説明を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> 拉致問題について簡単に説明する。「かつて日本で同年代の中学生が自らの意思ではなく、突然家族から引き離され、現在も解決していない。」など。 	

	<p>②問題が解決せず、今もなお帰国できていない家族がどのような思いでいるか考えて書く。</p> <p>③拉致問題啓発映像作品「～メッセージ～家族たちの思い」紺野美沙子さんの朗読【約10分】を視聴する。</p> <p>④朗読の視聴後、改めて被害にあった家族への思いを書く。</p> <p>⑤個人で考えたことを、4人程度のグループで伝え合う。話し合いで出た意見や感想を書いて整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に寄り添って考えた思いを書くよう促す。 ・横田早紀江さんの手紙の朗読動画をじっくりと視聴するよう促す。 ・生徒が自身の考えの変容を自覚できるよう、朗読のどの言葉で、その思いをもつにいたったのかを振り返るように促す。 ・話し合ったからこそ、他者の考えをどのように自らの考えと関連づけるのか、丁寧に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2
<p>まとめ 10分</p>	<p>◆まとめ（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説で紹介した資料1の動画等の内容を適宜取り入れる。 ・拉致被害は重大な人権侵害であることを再認識させ、さらには風化させないために何ができるのかについて伝える。 	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>・拉致被害は重大な人権侵害であると再認識し、さらには風化させないことを中心としてまとめをする。</p> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> ・この学習を通じて、自らができることを書いて考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決のためと言われても考えにくいことが想定されるので、「風化させないためにできること」など適宜アドバイスをする。 	

<参考資料など>

北朝鮮による日本人拉致問題 政府 拉致問題対策本部ホームページ
<https://www.rachi.go.jp/index.html>



使用する動画（政府 拉致問題対策本部ホームページ）

資料1

国際発信ビデオメッセージ「拉致問題解決を求める国際社会の声」（日本語版）動画（各5分程度）

https://www.rachi.go.jp/jp/message/videomessage_inter.html

資料2

拉致問題啓発映像作品「～メッセージ～家族たちの思い」 紺野美沙子さんの朗読

https://www.rachi.go.jp/jp/message/message_1.html

拉致被害者等の人権を考える

()年()組()番 名前_____

- 1 今、楽しみにしていることや将来の夢が、突然「一生叶わない」と知ったらどのような思いをもつと思いますか。

- 2 現在でも帰国できずにいる拉致被害者の家族は、どのような思いでいるか書いてみましょう。

- 3 拉致被害についての朗読を視聴した後、改めて拉致被害者の家族の思いについて書いてみましょう。

- 4 3について、グループの話し合いで出た意見や感想を書いてみましょう。

- 5 今日の学習を終えて、この拉致問題の解決について、あなたにできることを書いてみましょう。